

国立大学法人島根大学経営協議会（第101回）〈議事要録〉

日 時 令和元年10月3日（木）14:00～15:40
場 所 本部棟5F大会議室
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，吉田理事，宮脇理事
有川委員，有澤委員，秦委員，大谷委員，谷口委員，松浦委員，福島委員
欠席者 泉委員，大矢委員
〔陪席：千家監事〕

議 題（1）国立大学法人島根大学管理学則の一部改正について

- 藤田理事から2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」の取組機関に採択されたことに伴う国立大学法人島根大学管理学則の一部改正について説明があった。
- 学外委員から採択された事業の計画について確認があった。藤田理事から男女共同参画からダイバーシティへの繋ぎの事業として本事業は位置づけられており，具体的には女性教員の採用や研究環境の整備等を松江高専や島根県立大学等の県内関係機関と協力しながら進める予定であるとの回答があり，原案どおり議決された。
- 後日，採択された事業に関する資料を学外委員へ送付することとした。

議 題（2）国立大学法人島根大学予算規則の一部改正について

- 吉田理事から国立大学法人島根大学予算規則の一部改正について説明があり，原案どおり議決された。

議 題（3）新教員業績評価制度・新年俸制に係る方向性及び関係規則の改正について

- 藤田理事及び吉田理事から新教員業績評価制度・新年俸制に係る方向性及び関係規則の改正について説明があった。
- 学外委員から一般的な年俸制と異なり，なぜ基本年俸額が3年に1回改定されるのかとの質問があった。学長から年俸制については様々なタイプが文部科学省のガイドラインで示されているが，なるべく速やかに全教員が新年俸制に移るための制度設計を求められているため，本学としては月給制に近い形の年俸制として3年ごとの改定としたとの回答があり，原案どおり議決された。

議 題（4）令和元年人事院勧告の対応について

- 藤田理事から令和元年人事院勧告の対応について説明があり，原案どおり議決された。

議 題（5）令和2年度医学部入学定員増員計画について

- 荒瀬理事から令和2年度医学部入学定員増員計画について説明があり，原案どおり議決された。

報告事項（1）第100回国立大学法人島根大学経営協議会に係る書面審議結果について

- 学長から第100回国立大学法人島根大学経営協議会に係る書面審議結果について報告があった。

報告事項（２）平成３０事業年度財務諸表の承認及び平成３０事業年度財務状況分析資料について

- 吉田理事から平成３０事業年度財務諸表の承認及び平成３０事業年度財務状況分析資料について報告があった。
- 吉田理事から財務状況の学外への見える化が求められているため、教育研究のトピックスなども踏まえた財務レポートを現在作成中であり、完成し次第、学外委員へ送付するとの説明があった。

報告事項（３）令和元年度前期資金運用報告について

- 吉田理事から令和元年度前期資金運用報告について報告があった。

報告事項（４）令和２年度概算要求の概要について

- 吉田理事から令和２年度概算要求の概要について報告があった。

報告事項（５）令和元年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の枠組みによる評価結果及び成果指標に基づく評価結果の公表について

- 吉田理事から令和元年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の枠組みによる評価結果及び成果指標に基づく評価結果の公表について報告があった。
- 学外委員から成果を中心とする実績状況に基づく配分については、大学の実績に基づいて評価するという仕組みであり、先進的で大学の独自性があり、かつ優れた実績がでているものについては評価されるため、この点に留意して大学運営を行うよう意識すべきであるとの意見があった。

報告事項（６）附属病院運営状況について

- 井川理事から附属病院運営状況について報告があった。
- 学外委員から県立中央病院との連携について確認があり、井川理事から医師派遣において協力関係にあり、また県の健康福祉部とともに本学附属病院と県立中央病院の執行部との意見交換会を開いているとの回答があった。

その他

- 宮脇理事から文理横断型の教育が必要であり、文系に理系の考え方を教えることは重要であるとの意見があった。
- 学外委員から入試における地域枠の拡大についての要望があった。